

1. よく出る<貧困>

貧困線・・・世帯の総収入が必要最低限の生活を営める程度かどうかを示す境界線のこと。生活の窮乏状態を量的に把握することを目的としており、貧困であるか否かを計測するための尺度でもある。

俺、実業家で船も作ってんねん。

■イギリスの貧困研究者

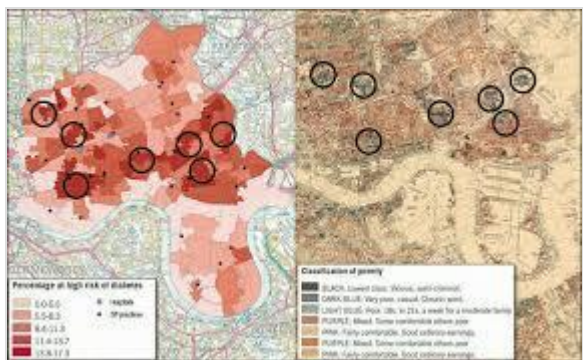
ブース

ロンドン調査『ロンドン民衆の生活と労働』(1903)

「継続的な欠乏状態」を極貧の人々と定義。貧困線概念を導入した。

貧困者の割合が3割で、その原因は社会的な要因が多かった。本人の個人的な問題ではなく、貧困は社会問題なんだ！！と訴える。

～ブース調査のまとめ～
1. ロンドンの全人口の約3分の1が「貧困線」以下の生活。
2. 貧困の原因は、飲酒・浪費等の「習慣の問題＝個人の責任」ではなく、賃金などの「雇用の問題」や疾病・多子などの「環境の問題」に起因し、特に前者が大きく作用していること。
3. 貧困と密住は相関すること、などを明らかにした。
ブースは、貧困をカラーリングして「目に見えるもの」⇒貧困地図にただけでなく、「社会政策」の必要性を示して見せた。



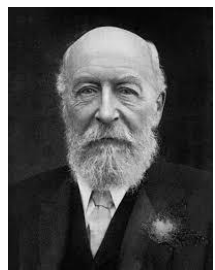
↓ ラウントリー (ベンジャミン・シーボーム・ラウントリー)

ヨーク調査

貧困を栄養摂取の観点から定義し肉体的能率を維持するのに不足していることを第一次貧困。なんとか維持できるのを第二次貧困とした。

必要カロリーを補給するための最低限の食費をもとにした最低生活費から貧困線を設定した。

同時に、年齢グループによって貧困割合が異なることに注目した。ここから彼は、「特別な熟練をもたない労働者の場合、失業しなくとも人生で3回貧困に陥る危険がある」という、貧困と労働者のライフサイクル・モデルを発見する。



チョコの会社の社長やねん。キットカットは俺が考えたんや。自慢や。

→3回の貧困の危険とは、1回目は自分が子どもだった時代、2回目は結婚して自分の子どもを育てている時代、3回目は子どもが独立し、自分がリタイアして収入が途絶えるか低下する時期である。このライフ・サイクルモデルは、労働者がある時期に貧困に陥る可能性があることを理論的に示したので、その後の社会保障の基礎となった。

↓

タウンゼント（ピーター・B・タウンゼント）⇒**相対的剥奪・相対的貧困**

社会の標準的な食事、活動などに参加することを剥奪されている状態を全人口の中で相対的に貧困であるとした。（社会が整備した生活上のニーズを満たす諸機構を利用できない、あるいはそういった諸機構が整備されていないことによりニーズが充足されないこと）

相対的剥奪の概念を精緻化することで相対的貧困を述べた。相対的剥奪は、絶対的基準による剥奪感ではなく、むしろ周囲の他者や他集団・他地域等と比較して、相対的に自らの状況が剥奪され、劣っていると感ずること。ラウントリーらの絶対的貧困を批判することとなった。ブライアン・スミスとの共著『貧困層と極貧層』（1965）

↓

<現在の研究者たち>

□スピッカー（英）：1954～「貧困の家庭的類似」という図式を用いて貧困の多様な意味を説明。貧困の多様な意味を「物質的狀態」（衣食住が整わない剥奪パターン）、「経済的境遇」（経済力の格差）及び「社会的地位」（社会的排除）の3つの群に分け、その中心に共通項としての「容認できない困難」（価値判断のための合意形成）をおいて定義している。

□リスター（英：労働党議員・社会学者）：貧困の概念を、生活物質の欠乏といった物質的側面のみならず、社会関係の欠如といった非物質的側面からもとらえることを目指した。リスターはこの2つの側面を車輪の「ハブ」と「リム」になぞらえ、これらは、社会的関係と文化的関係によって形成されるとしている。

アメリカの研究者

ルイス

『貧困の文化—メキシコの5つの家族』で経済的に困窮した集団の貧困連鎖について述べた。貧困者には共通した貧困の文化があるとした。

1960年代以降のアメリカで提示され、貧困者が貧困生活を次の世代に受け継ぐような生活習慣や世界観を伝承している、という考え。このサイクルを打破することが社会問題としての貧困を解決するために不可欠だとされている。民主党のダニエル・パトリック・モニハン^[1]上院議員のモニハン・レポートなどに採用され、アメリカの対貧困政策に大きな影響を与えている。ルイスは、長い研究を通じて「貧困の文化」の約70の特徴を挙げている。また、すべての低所得者が「貧困の文化」に属するわけでは



なく、世代を通じてより豊かな生活へと上昇してゆく家系には同文化は存在しないと説いている。

<練習問題 ○か×か？>

- ①ラウントリーはヨーク調査において、「その総収入が単なる肉体的能率を保持するに足る家庭」を第一次貧困と定義した。
- ②タウンゼントは、貧困者には共通した「貧困の文化」があることを明らかにした。
- ③相対的貧困とは生存が最低限度に可能とされる生活状態のことを意味し、ブースやラウントリーらが行った調査がある。
- ④剥奪アプローチはルイスによって開発された人々の生活水準を計測する方法で、相対的剥奪、物理的剥奪、社会的剥奪がある。